

シラバス情報

授業方法	(講義) ・ 実験 ・ 実習		
系 列	自動車整備		
科 目 名	電装整備		
必修・選択	(必修科目) ・ 選択科目		
対象学科	一級自動車整備科・二級自動車整備科		
年次学期・曜日・時限	2年後期 ・ 木曜日 ・ 1・2時限あるいは5・6時限		
時 限 数	24時限		
担当教員名	川向 芳子		
実務経験	(有) ・ 無		
	国土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組み立てなど自動車整備士としての経験を活かし、整備をする上で必要となる電装品の知識について講義する。		
授業の目的	各装置の構造、機能復習。機能点検、整備の理解と、過去に国家試験に出題された問題の理解を目的とする。		
テキスト	①二級自動車整備士(総合) (日本自動車整備振興会連合会 発行) ②三級自動車整備士(総合) (日本自動車整備振興会連合会 発行)		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト 範囲
第1回	半導体 (総論)	概要解説。 ダイオード、トランジスタについて解説	P229～ P235
第2回	半導体 (論理回路)	論理回路について解説。 練習問題実施後、解説。	P229～ P235
第3回	バッテリー	概要、機能、整備について解説。	P236～ P241
第4回	バッテリー	練習問題実施後、解説。	P236～ P241
第5回	CAN通信	概要、機能、整備について解説。 練習問題実施後、解説。	P242～ P247
第6回	警報装置 スキャンツール	概要、機能、整備について解説。 練習問題実施後、解説。	P248～ P252
	中間試験	第6回までの授業内容に関する筆記試験	
第7回	始動装置 (構造等復習)	概要、構造、機能について復習。 練習問題実施後、解説。	P253～ P260
第8回	始動装置 (整備)	点検、整備について解説。 練習問題実施後、解説。	P253～ P260
第9回	充電装置 (構造等復習)	概要、構造、機能について復習。 練習問題実施後、解説。	P261～ P271

第 10 回	充電装置（整備）	点検、整備について解説。 練習問題実施後、解説。	P261～ P271
第 11 回	点火装置	概要、構造、機能等復習と解説。 練習問題実施後、解説。	P272～ P277
第 12 回	総論	総まとめ練習問題実施後、解説。	P229～ P277
	期末試験	第1回～第12回までの授業内容に関する 筆記試験	
到達目標	国家試験に出題された電装関連の問題の理解を目標とする。		
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、中間試験並びに期末試験を合算して行う。		
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。		
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が40点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p style="margin-left: 40px;">中間試験の点数 30%</p> <p style="margin-left: 40px;">期末試験の点数 40%</p> <p style="margin-left: 40px;">平常点 30%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が60点以上である場合、以下によって評価する。</p> <p style="margin-left: 40px;">60～69点 = 可、70～79点 = 良、80～89点 = 優、90点以上 = 秀</p> <p>60点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで60点以上のとき履修を認定し、成績は60点 = 可とする。</p>		
成績評価できない 場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、 又は、成績評価が60点未満の場合。		